

工学研究科市民工学専攻 教授 芥川真一
 Office phone : 078 803 6015
 Mobile phone : 090 8382 3607
 Email : cadax@kobe-u.ac.jp

タイトル : On-Site Visualization 技術の海外普及活動

内容 : ジャカルタ市内での地下鉄工事現場（インドネシアで初めての地下鉄）の安全管理対策として、On-Site Visualization 技術（市民工学専攻の芥川教授が提唱しているもの）に基づくモニタリング業務が JICA 支援プロジェクトとして実施された。

新規性 : 神戸大学が推進している新しい安全管理の方法論（On-Site Visualization）に基づいた事例が積み重ねられてきた（日本で 70 例ほど、インドなどで 3 例）ことを受けて、それに関連する装置を製造する会社の海外進出を支援する JICA プロジェクトが初めて実施されたこと。神戸大学発の新技术が国際市場で社会実装されている事例。

概要 : ジャカルタにおける OSV プロジェクトは JICA の開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業「インドネシア国ジャカルタ MRT における安全管理対策のための OSV 計測技術の普及促進事業」として実施した。これは日本国内で実績を上げている中小企業の海外進出を JICA が支援するもので、申請母体は OSV 研究会に所属する環境総合テクノス、曙ブレーキ工業、東亜エルメスとし、これをオリエンタルコンサルタンツグローバル、オリエンタルコンサルタンツが支援し、神戸大学（芥川）が全体の技術指導を行う形式で実施した。具体的には、ジャカルタ中心部で建設中の地下鉄沿線の 3 現場（市内中心部の駅 2 箇所と市内南部の高架部）において期間限定で On-Site Visualization に基づく安全管理を実施し、最終的にその成果を発表するセミナーを開催した。施工主である Jakarta MRT（ジャカルタ地下鉄公社）から高評価を得たとともに、このプロジェクトをコーディネートした阿部玲子氏（神戸大学修了生で現在、オリエンタルコンサルタンツグローバル・インド社の社長）がフィーチャーされた NHK の「プロフェッショナル-仕事の流儀」（2015.11.30NHK 総合チャンネルで放送）で、このプロジェクトが紹介され大きな反響を得た。また、プロジェクト終了後に、産官学のバランス良い運営で中小企業の海外進出を企画しているという点で JICA から注目され、本プロジェクトを担当した環境総合テクノスが開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業の説明会で成果の内容を紹介する機会を得たことに加え、JICA 側の意向により、本プロジェクトの概要を取りまとめた JICA の公式ビデを制作し、現在 YouTube でそれが公開されている。

（YouTube address, <https://www.youtube.com/watch?v=QmMhqYI984Y>）



(*) JICA の公式動画として YouTube にアップロードされている OSV プロジェクト

さらに、アジア防災センター主催の会議「Asian Conference on Disaster Reduction 2016, 25-26 February 2016, Phuket, Thailand」においても OSV の技術を紹介する機会を得たため、加盟約 30 カ国の防災担当主要官僚と情報交換し、安全の向上に対する貴重な意見交換を行った。これらの国際的情報発信は今後も増大する可能性があるため、産学連携チームの国際対応力をさらに高めるべく活動を展開してゆきたいと考えている。